

2026年度(令和8年度) 教職員・指導者セミナー 講座一覧

兵庫県立人と自然の博物館

月日	時間	No	講座名	対象校種	講師	内容	場所	形態	定員	受講料	備考
7月23日(木)	9:30~12:30	G101	ピカピカ泥だんごの作り方	幼小中特	赤澤 宏樹	校庭や公園と同じ土(真砂土)で作る泥だんごと、陶芸用の粘土を磨き上げ好きな色をつける泥だんごの2種類の作り方を解説します。必要な材料・道具や購入先例、特別支援学級での実践等についても情報提供します。	・博物館内 ・屋外	・座学 ・野外実習	40	1,000	汚れてもよい、地面にしゃがみ込んでよい格好で参加してください。屋外でも活動するので、暑さ対策を各自準備してください。
	9:30~12:30	G102	身近な里山の樹木を見分ける	幼小中特	黒田 有寿茂	様々な樹木を見分ける知識や観察力は、普段の散歩や山歩きを一味違ったものにしてくれるだけでなく、環境学習や総合学習の場面でも大いに役立ちます。本セミナーでは特に葉の形に着目して樹木を見分けるポイントを学び、深田公園で実際の樹木の様子や里山の状況を観察します。	・博物館内 ・深田公園	・座学 ・実習 ・野外観察	15	700	小雨決行。 屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。
	9:30~16:30	G103	身近な公園を使った探求学習プログラムづくり～多様な視点から考えるサステナブルな社会～	小中高特	福本 優	身近な公園を題材に、小学生～高校生まで世代に合わせて応用できる探求学習プログラムのつくり方を、実際のフィールドワーク・参加者と研究員でのディスカッションを通じてお伝えします。	・博物館内 ・周辺の公園	・座学 ・野外実習	20	700	雨天決行。
	9:30~16:30	G104	川の水生昆虫調べと授業への活用	小中特	三橋 弘宗	身近な川に生息している水生昆虫を採集して博物館に持ち帰り、顕微鏡で観察して名前の調べ方を学びます。採集から名前調べを行うことで、水生昆虫の大まかな特徴や調べ方のコツをつかむことができます。この結果をもとに、川を題材として授業に活用する方法を解説します。	・館外 (神戸市北区) ・博物館内	・座学 ・野外実習	20	1,000	9:30神戸電鉄有馬口駅集合。 神戸市北区(奥山川)での採集後、博物館へ移動します。 ぬれてもよい服や靴、長靴等を各自で準備。 雨天決行。
	13:30~16:30	G105	小学校の授業に役立つ星の話	小特	NPO法人 人と自然の会 (田中慎悟)	星、天文の授業(月の満ち欠けなど)は難しいと言われてます。簡単な工作を交えて子ども達が理解しやすい方法を提供し、天文関係のツールやその活用についても紹介します。	・博物館内	・座学 ・体験	15	700	
7月24日(金)	9:30~16:30	G201	初めての生物統計学(全2回) ①午前「生物統計学の基本的考え方とノンパラメトリック検定」 ②午後「パラメトリック検定」	高	高橋 鉄美	生物統計学の初学者を対象に解説します。実際の例題を解くことで、探究学習や自由研究の指導など実践で役立つスキルを身につけていただくことを目的とします。①午前または②午後のみ受講も可能ですが、②午後のみの場合、統計の基礎知識(①午前)が必要になります。	・博物館内	・座学 ・実習	20	500	①午前と②午後の両方を受講、もしくはどちらか一方のみ受講でも、受講料は同じ(500円)。 午後は、エクセルの入ったPCを要持参。 お持ちでない場合は申込時にご相談ください。
	9:30~16:30	G202	動画編集と教材づくり	小中特	三橋 弘宗	博物館の標本や展示物を使って動画作成を実践学習する講座です。映像撮影や動画編集の基本を学び、簡単な動画教材づくりを行います。作成した動画をWEB上に公開する方法も解説。デジタル教材づくりや行事の記念動画づくりにも役立つ実践技法となります。	・博物館内	・座学 ・実習	15	500	・パソコンの基本的なスキル(ワード、エクセルの簡単な操作)のある方を対象とします。 ・ソフトはfilmoraを利用予定です。事前に無料版のインストールを推奨。 ・カメラ、スマホ、ノートパソコン要持参。
	9:30~12:30	G203	動物進化の物語 ～進化を扱う授業の工夫①～	中特	松島 修	中学校の理科教員をしていたひとはく地域研究員が、実戦を通して開発した教育ツールを紹介します。	・博物館内	・座学	20	700	
	13:30~16:30	G204	動物進化の物語 ～進化を扱う授業の工夫②～	中特	松島 修	系統樹を時代ごとに切り分け、それぞれの時代でどのような動物が進化したのかを、考察します。	・博物館内	・座学	20	700	

※ 講座内容や実施場所等が変更または追加となる場合があります。お申し込みの際は、当館HPにてご確認ください。

※ 「対象校種」は内容を示すもので、その講座に記載がない校種の方でも受講できます。

※ セミナーについての問い合わせは、電話(079-559-2002)またはメール(seminar@hitohaku.jp)にて行っております。

(裏面に続く)

2026年度(令和8年度) 教職員・指導者セミナー 講座一覧

兵庫県立人と自然の博物館

月日	時間	No	講座名	対象校種	講師	内容	場所	形態	定員	受講料	備考
7月28日(火)	9:30~12:30	G301	ひょうごの化石	小中特	半田 久美子	採集するのがなかなか難しい化石ですが、意外と身近にあるかもしれません。本物の植物化石や恐竜化石のレプリカを観察しながら、兵庫県内で見つかっている化石について解説します。写真撮影して授業でご利用ください。	・博物館内	・座学	20	500	
	9:30~12:30	G302	生物進化という考え方	高	高橋 鉄美 太田 菜央 大崎 遥花	全ての生命現象は進化の結果です。その進化について、「生物進化の基礎」、「動物行動学から見た進化」、「社会性の進化」の3タイトルを軸に、3名の講師が解説します。内容は高校生物を想定しています。生命現象について進化の視点で理解することを目標としています。	・博物館内	・座学	20	500	
	9:30~12:30	G303	水の中の小さな生物	小中特	NPO法人 野生生物を調査研究する会	生態系は、大量のプランクトンや微生物に支えられています。プランクトンの取り方や、それらを観察するための顕微鏡の使い方の基礎、そして実際の授業で指導する方法を解説します。	・博物館内	・座学 ・実習	20	700	屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。
	13:30~16:30	G304	自慢できる自然観察	小中特	NPO法人 野生生物を調査研究する会	本セミナーでは、植物や昆虫について実感の伴った観察を体験します。その体験を通して、子どもたちに難しすぎず、飽きさせない指導力をつけることを目指します。	・博物館内	・座学 ・実習	20	700	屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。
	13:30~16:30	G305	デンデンムシとダンゴムシ	幼小中特	鈴木 武	兵庫県の代表的なデンデンムシとダンゴムシの観察を通して、特徴や飼育方法などを学びます。博物館に近接した深田公園での観察も行います。	・博物館内 ・深田公園	・座学 ・野外観察	20	1,000	屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。雨天決行。
7月29日(水)	9:30~12:00	G401	小学校生活科・幼保の先生向け「正しい虫の扱い方」	幼小特	八木 剛	虫のつかまえ方、育て方、いのちの大切さをどう伝えるか・・・先生対象の研修会で蓄積した頻出質問と回答を一気に公開。目から鱗の基礎知識、ノウハウ、機材等の解説と野外実習を行います。虫の扱い方を体得して子どもたちの関心に応え、教育・保育の幅を広げましょう。虫が苦手な先生もこれで安心です。	・博物館内	・座学 ・野外実習	50	500	屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。雨天決行。
	9:30~12:00	G402	人間と動物行動学	高	太田 菜央	人間も動物の一部です。動物として見た人間には、形態にも行動にも性差や地域差など様々な違いや進化の履歴が垣間見えます。これらは重要な知見である一方で、論争や分断の種になることもあります。動物行動学から見た人間の姿を学び、その知識とどのように付き合っていけば良いか、考えてみませんか。	・博物館内	・座学	20	500	一般セミナーD104と同じ内容です。
	13:30~16:30	G403	学外活動における危険生物とその対策	幼小特	坂本 貴海	校外学習や自然学校など学外での活動時を中心とした野外での危険生物(ハチ、マダニ、ムカデ、マダニなど)の生態や生息場所、その刺傷被害への予防と対策を解説します。	・博物館内	・座学 ・野外実習	50	500	屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。雨天決行。
	13:30~16:30	G404	小さな子どもの指導者向け「身近な植物観察の仕方」	幼小特	小館 誓治	深田公園に生えている植物などを使って、身近な植物の観察のしかたを学びます。	・博物館内	・座学 ・野外観察	20	900	屋外でも活動するので、暑さ対策・虫よけ対策等を各自準備してください。雨天決行(室内のみで実施の場合もあり)。

※ 講座内容や実施場所等が変更または追加となる場合があります。お申し込みの際は、当館HPにてご確認ください。

※ 「対象校種」は内容を示すもので、その講座に記載がない校種の方でも受講できます。

※ セミナーについての問い合わせは、電話(079-559-2002)またはメール(seminar@hitohaku.jp)にて行っております。